

郡山市議会 志翔会 議会報告 平成30年12月定例会特集



後列左から 森合 秀行、山口 信雄、大木 進、川前 光徳、諸越 裕、佐藤 徹哉、佐藤 栄作、馬場 大造
前列左から 大内 嘉明、高橋 隆夫、鈴木 祐治、七海喜久雄、佐藤 政喜、近内 利男、塩田 義智、久野 三男

新年のご挨拶



会 長
七海喜久雄

輝かしい新年をご健勝にてお迎えの事とお喜び申し上げます。結成3年目をむかえ、会派の考え方の原点「議会は住民自治の根幹をなす機関」として、市民の皆様との意思疎通、議員間の十分な議論、そして、透明性を高め、説明責任を果たしながら、その機能を十分に果たすように取り組んで参ります。皆様が安全で安心な災害のない、豊かに住んで良かったと思う街づくりに努めて参りますので、これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成30年12月定例会概要

平成30年12月定例会が閉会し、平成30年度郡山市一般会計補正予算をはじめ、全ての提案議案を可決しました。このうち12月補正予算は、懸案事項の早期解決のため、関係機関との調整に進捗が図られた事業などに係る経費のほか、新たな行政課題や市民生活と密接に関係する事業等に対応するための各種経費を計上するとともに、事務事業の確定等に伴う減額や、人件費の整理に伴う経費が計上され、一般会計で9億5,639万9千円の増額、特別会計で7,439万4千円の減額、合計で8億8,200万5千円の増額となりました。

異例！ 26年ぶりの 議案撤回！

今定例会で当局提出議案第221号「郡山市母子生活支援施設条例を廃止する条例」については、昨年12月11日に市長から撤回の申し出があり、議会で承認されました。

当局提出の議案が撤回されたのは、1992年(平成4年)青木久市長時代のテキサスA&M郡山校の補正予算案以来26年ぶりとなります。

詳しい経緯については、一般質問要旨(川前光徳議員・2ページ)と編集後記(4ページ)をご覧ください。

12月定例会市政一般質問

要 旨

磐梯熱海温泉の景観について

問 磐梯熱海温泉街の中心部にあり廃墟となっていた旧河鹿荘が、埼玉県川越市内の建設会社の会長の支援によって撤去作業が始まった。今回は、民間主導で廃墟の撤去が進んでいるが、磐梯熱海温泉のホテル・旅館に温泉を供給する本市としては、磐梯熱海温泉街の景観や温泉街の魅力の向上のために、地元関係者や所有者と今後協議していくことはあるのか。



森合 秀行



答 同跡地の活用については、所有者の考えもあることから、まずは、その意向を確認しながら、適切に対応したい。

ASAKAMA I 887の返礼品の掲載について

問 本市のふるさと納税の返礼品に過日発表されたASAKAMA I 887をふるさと納税返礼品掲載サイト「ふるさとチョイス」に掲載すべきと考えるが、見解は。



食味値88点以上・7つの厳しい基準を満たした国内最高水準の米「ASAKAMA I 887」

答 これまでも、郡山の魅力発信や地域産業の振興などの観点から随時、品目を拡大してきたところであり、販売元であるJA福島さくらなど関係者と早急に協議を行う。

郡山市水素利活用推進研究会の内容等について

問 「平成30年度第1回郡山市水素利活用推進研究会」が平成30年8月3日に、「第2回同研究会」が11月29日に開催されたが、研究会の内容は。また、研究会において、実効性を伴う計画を示すべきと考えるが。



佐藤 栄作



答 第1回研究会では、水素利活用の動向についての事例発表を行った上で、「モビリティによる水素利活用」及び「水素の地産地消」をテーマに、今後、議論を進めることとした。第2回研究会においては、新たに6団体が加入した中で、水素関連事業を進める企業の皆様から講演をいただき、研究会会員の皆様からは、「オール福島」で取り組み、具体的な産業へ繋げるべき等、水素社会の実現へ向けた建設的な意見が交わされた。実効性を伴う計画については、関連性が高い会員で構成する分科会を設置することにより、実効性のある計画を策定していく。



市役所本庁舎東側にある郡山市水素ステーション

日吉ヶ丘市営住宅について

問 日吉ヶ丘市営住宅は、1963年に建設され現在55年の経過年数となっており老朽化が激しい状態となっている。本市では、公共施設等総合管理計画個別計画が打ち出され、日吉ヶ丘市営住宅は民間活用で、本施設又は近隣施設の改修・建替等の時期に合わせ、管理運営や整備手法を検討の上、財源の多様化を図るとした上で、2018年度を検討開始年度としているが、現在の検討状況は。

答 公共施設等総合管理計画個別計画における日吉ヶ丘団地の検討状況であるが、年度内には、25世帯に訪問し、生活模様や今後の生活設計について意向を伺うこととしている。今後は、入居者の方々の意向を尊重しつつ、個別計画の運用について検討していく。

街路樹の伐採方針について

問 街路樹を切った後、いたるところで切り株が放置されているが、早急に撤去し、そのあとに植樹し街路樹の再生を図るべきでは。



川前 光徳



答 街路樹伐採直後の切り株は、根が枯れるまで3年程度時間を置き撤去している。今後切り株処理に合わせ、維持管理コストの小さい樹木を地域の方々と選定し、計画的に植替えを行っていく。

母子生活支援施設について

問 今定例会に上程された「郡山市母子生活支援施設条例を廃止する等の条例」について、それに該当するひまわり荘の存続が議論されている。旧態依然の運営体制から脱することができなかったのはなぜか。本市施設の抱えてきた問題は何か。また、今の建物は廃止しつつ、当該条例は残し、厚生労働省が示す支援機能を持つ新たな施設の設置を検討すべきでは。さらに、ひまわり荘入所希望者が、ここ数年窓口段階で入所を断られ続けてきたことや、共同浴室の電気の消し忘れを理由に全体責任と称し入所者全員に共同浴室を使わせない、職員退勤後にアルコール依存症の入所者に対しお酒を御礼として渡すかわりに見張り役として他の入所者の監視にあたるなどといった非常に問題の多い管理運営実態について関係者より聞き及んでいるが、実態は。また、現状がわからないのであれば調査をすべきでは。

答 ひまわり荘という総合的な施設のサポートから市営住宅を活用し、各種支援メニュー等により、地域の中で自立支援を図っていくとするものである。また、総合的に判断し施設を廃止することとしたため、ひまわり荘だけの設置を定める条例廃止が適切と考える。入所希望者には施設を見てもらって判断してもらっている。管理運営等について、そのような事実は現在のところ確認していない。

トピックス

1月13日15時から郡山中央スマートICが開通します。

志翔会の会派重点要望として早期開通を要望していた郡山中央スマートICが本年1月13日15時から開通します。開通によって期待される整備効果として、①市役所をはじめ、郡山駅や商業施設が集積する市街地へのアクセス時間が短縮し、交流人口拡大による地域の活性化、②県中・県南唯一の第三次救急医療施設である太田西ノ内病院へのアクセス向上による救命率の向上、③本市の災害時の拠点となる陸上自衛隊郡山駐屯地、郡山消防署等からの最寄りのICとなり、大規模災害発生時の物資輸送・人的支援活動の円滑化が上げられます。



郡山中央スマートICの概要
(NEXCO東日本ウェブサイトから)

関連質問

問 本日質問の中ででたひまわり荘の入所を断られてきたことや過去の実態について第三者機関を通して調査すべきでは。

山口 信雄



答 施設の耐震判定についてC判定となっており入所受け入れを控えてきた。また、管理運営は指定管理者が行っており、そのような実態は承知しておらず契約通り運営されていると認識している。



郡山市母子生活支援施設ひまわり荘

空き家の利活用策について

問 本市もデジタル市役所を目指していることから、ウェブサイトへの空き家物件の情報を掲載することから始めるべきと考える。本市も協定を結んだ「NPO法人こおりやま空き家バンク」と連携して取り組むべきと考えるが見解は。



近内 利男



答 市内にある空き家の利活用を図るためにはわかりやすい物件紹介が必要であり、市ウェブサイトで多くの方に情報を提供できるというメリットがあるので、現在、「NPO法人こおりやま空き家バンク」のサイトと住宅課及びこおりやま移住・定住ポータルサイトにリンクを貼っている。



NPO法人こおりやま空き家バンクのウェブサイトから

(仮称)エンディングノートについて

問 認知症になって判断能力が低下した中での医療や介護の受け方、死亡した時の財産管理や連絡先、葬儀の方法など、思わぬ事態に備えた(仮称)エンディングノートのような事業を始めるべきと考える。介護保険第1号被保険者となる65歳からの配布を、保険

料納入通知書と一緒に送付してはいかがかと思うが見解は。

答 アドバンス・ケア・プランニングの考えに加え、本人の人生観・価値観に基づき、今後の人生をどう生きるかについて本人が決定した意思を共有し、死後の相続や葬儀、本人に関わる人との今後のことについて家族等で継続的に話し合うツールの作成や配布方法について検討していく。

駅東口周辺の土地利用について

問 郡山商工会議所による郡山グランドデザインにおいて、東西自由通路の新しい発想の使用の仕方や、東側に商業施設とホテルの複合施設の設置が提言されており、多くの市民が郡山駅東口周辺地区の開発を期待していると思われる。郡山駅東西の均衡ある発展に向け、郡山駅東口周辺地区に民間活力を誘導できるような考えはないのか。



久野 三男



答 郡山駅東口周辺地区について、「郡山市立地適正化計画」において「都市機能誘導区域」に設定し、都市



郡山駅東口の「ビッグツリーページェント・フェスタ in KORIYAMA 2018」

機能を整備する民間事業者に対し、財政面、税制面での支援する環境を整えたが、当該地区には、本市の産業を支え、発展に貢献した工場等が多く立地し事業展開を図っていることから、これら立地企業等の方々と様々な機会を捉え、引き続き、土地利用に関する情報交換など行っていく。

児童相談所の設置について

問 児童福祉法の改正により2005年4月から児童家庭相談の第一義的な窓口は市町村の業務と規定し、市町村と児童相談所の役割分担が明確化された。本市でも今年4月に子ども条例を制定するなど、子どもたちを守り、親も護って育てる環境づくりの施策を実行しているが、多くのニーズに対応するために児童相談所を設置すべき時期と考えるが見解は。

答 本市における児童相談所の設置については、地域で互助を進める第2層協議体や社会福祉協議会、町内会、民生・児童委員、主任児童委員、学校、保育所、医療機関等との連携をさらに図り、現在の体制を強化に努め、地域社会全体で児童虐待の未然防止・早期発見に重点を置いて対処していきたい。



昨年10月に会派行政調査を実施した熊本市児童相談所がある「あいぱるくまもと」

コラム column

郡山市に中高一貫校を！

県議会12月定例会において、県教育委員会は中通りに進学に重点を置いた県立中高一貫校の設置を検討していることが明らかになりました。現在、会津には会津学鳳中・高、浜通りにはふたば未来学園中・高があり、中通りに設置されれば、県内三地方全てに配置されることになります。

本市にはすでに郡山青年会議所、商工会議所青年部、地区商工会青年部連絡協議会、中小企業家同友会後継者塾、農業青年会議所の代表者で組織する「福島未来を考える青年団体協議会」から設置に関する要望等の意向を伝えており、子どもたちに学びの場の選択肢が増えることは歓迎すべきと考えます。志翔会では、積極的に誘致の声を上げていきます。

(佐藤 徹哉)



会津若松市にある会津学鳳中・高（学校ウェブサイトから）

新年の抱負



鈴木 祐治
すずき ゆうじ

田村町正直の正直古墳群の発掘調査が進んでいます。更なる郡山の歴史が明らかになります。歴史を知ることにより新たな郡山の発展につなげたいと思います。

- 当選5回
- 志翔会顧問
- 所属／文教福祉常任委員会
- 連絡先／〒963-1154 田村町岩作字小人町99番地 TEL.024-955-2172



久野 三男
ひさの みつお

新年を迎え、希望に満ちた明るい年、活力ある郡山にする為に取り組んでいきたい。安心できるまち、ふれあいのあるまち、夢と笑顔があるまちにする。

- 当選3回
- 志翔会政務調査会長
- 所属／総務財政常任委員会委員長 議会運営委員会 議会改革特別委員会
- 連絡先／〒963-8811 方八町一丁目3番11号 TEL.024-943-3200



塩田 義智
しおた よしとも

地球が一公転するごとに「春夏秋冬」は巡り続けます。しかし、今日という日は巡っては来ません。人生も一回限りです。当たり前前の人生を目指して前進します。

- 当選3回
- 志翔会副会長
- 所属／総務財政常任委員会 議会運営委員会 議会改革特別委員会委員長
- 連絡先／〒963-0121 三穂田町川田字小樋41番地 TEL.024-945-2015



大木 進
おおき すすむ

新春のお慶びを申し上げます。「万里一空」・・・本年も市民の皆様の負託に応えるべく、目的・目標・やるべきことを見失わずに精一杯議員活動に励んで参ります。

- 当選1回
- 所属／文教福祉常任委員会 人口減少社会対策特別委員会副委員長
- 連絡先／〒963-0551 喜久田町字赤沼向4番地の133 TEL.024-951-7290



森合 秀行
もりあい ひでゆき

キラキラと輝く向日葵のように、冬の寒さに負けず「変える勇氣」「貫く信念」をモットーに子ども達の未来のために東奔西走自転車で行脚します。

- 当選1回
- 志翔会広報担当
- 所属／環境経済常任委員会 議会だより編集委員会委員長 議会改革特別委員会副委員長
- 連絡先／〒963-0119 巳六段50番地1号 TEL.024-953-7885



高橋 隆夫
たかはし たかお

最近、イノベーションという言葉がメディア等で使われている。生産・物流、人間の生活・能力の向上はイノベーションつまり革新によりもたらされたものである。

- 当選6回
- 志翔会顧問
- 所属／環境経済常任委員会
- 連絡先／〒963-8071 富久山町久保田字久保田4番地 TEL.024-933-8311



七海喜久雄
ななうみ きくお

議員生活の中でややもすると自分の目線でものごとを見やすいのですが、「達人大観」の言葉どおり客観的にものごとを見ながら精進したいと思います。

- 当選4回
- 志翔会会長
- 所属／総務財政常任委員会
- 連絡先／〒963-0837 中田町駒板字南115番地 TEL.024-922-9587



近内 利男
こんない としお

郡山市議会12月定例会で母子生活支援施設「ひまわり荘」の廃止条例議案が撤回された。26年ぶりである。議会の意志が反映した。政治は弱者の目線で。

- 当選3回
- 志翔会副会長
- 所属／環境経済常任委員会委員長 議会運営委員会 人口減少社会対策特別委員会
- 連絡先／〒963-0702 緑ヶ丘東二丁目4番地の8 TEL.024-942-7967



川前 光徳
かわまえ みつおり

今年は、議員活動の目標を教育、福祉、まちづくりの充実に定め、より一層精進いたします。中でも児童福祉と生活環境の整備に積極的に取り組みます。

- 当選2回
- 志翔会幹事長
- 所属／総務財政常任委員会 議会運営委員会委員長 議会改革特別委員会
- 連絡先／〒963-8877 堂前町12番6号 TEL.024-922-5265



山口 信雄
やまぐち のぶお

あけましておめでとうございます。多くの方々が集い合う住みやすい街郡山実現に向けて市民の皆様と共に「猪突猛進」の意気込みで取り組んで参ります。

- 当選1回
- 志翔会会計担当
- 所属／総務財政常任委員会副委員長 議会運営委員会 議会改革特別委員会
- 連絡先／〒963-0111 安積町荒井字南千保1番地 TEL.024-945-2233



馬場 大造
ばば だいぞう

今年は、一定の要件下での市街化調整区域での住居建設を可能にする地区計画がスタートします。少子化対策に有効な施策。しっかり取り組んで参ります。

- 当選1回
- 所属／建設水道常任委員会
- 連絡先／963-1151 田村町金沢字大久保64番地 TEL.024-953-5976

郡山市議会
議員の
虚礼廃止

選挙によって選出される議員等の職にあるものが、年賀状などの時候のあいさつ状(電報も含む)を出すのは、「答礼のための自筆によるもの」以外は**公職選挙法により禁止されています**。
市民の皆様には、この趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。



大内 嘉明
おおうち よしあき

新年を迎え、新たな気持ちを胸にして亥年のごとく「猪突猛進」の精神を持って市民の皆様の福祉向上のために目に見える地域創生の実現を目指して頑張って参ります。

- 当選5回
- 志翔会顧問
- 所属／文教福祉常任委員会
- 連絡先／〒963-0546 喜久田町早稲原字弥五郎15 TEL.024-959-2319



佐藤 政喜
さとう まさき

平成から新たな時代への幕開けの年となります。郡山中央スマートインターも開通し、経済県都として新たな時代に即応できる活発な議会運営に努めます。

- 当選3回
- 所属／市議会議長
- 連絡先／〒963-0201 大槻町字中ノ平55番地 TEL.024-951-2316



諸越 裕
もろこし ひろし

小枝の先に赤い命が芽吹の準備を始めています。自然界は確実に春に向かって躍動しています。『一陽来復』昼ひと目ひと目と陽が伸びていきます。心は春です。躍進です。

- 当選3回
- 所属／市監査委員 建設水道常任委員会
- 連絡先／〒963-0201 大槻町字殿町35番地 TEL.024-952-4258



佐藤 徹哉
さとう てつや

「平成」が終わろうとしています。これからの郡山市がどうあるべきか、平成の後の時代を生きる子どもたちのためにも、しっかりと取り組んでいきます。

- 当選2回
- 志翔会事務局長
- 所属／文教福祉常任委員会委員長 議会運営委員会 人口減少社会対策特別委員会
- 連絡先／〒963-8862 菜根一丁目11番11号503 TEL.024-934-2585



佐藤 栄作
さとう えいさく

新年明けましておめでとうございます。私の座右の銘である、「日進月歩の世の中ゆえに日々精進を怠らず」を実践し、更なる本市発展の為に尽力致します。

- 当選1回
- 志翔会政務活動費担当
- 所属／建設水道常任委員会副委員長 人口減少社会対策特別委員会
- 連絡先／〒963-8047 富田東一丁目146番地 TEL.024-932-2780

編集後記

12月定例会において注目されていた「郡山市母子生活支援施設条例を廃止する等の条例」は志翔会の森合議員と川前議員を含む5人の議員により一般質問で議論されました。その結果、品川市長より「これまでの議会での議論や様々な声を踏まえ議案を撤回したい」との申し出があり本条例は撤回されました。志翔会としては児童相談所設置も含めた児童福祉の観点から「自分達の地域の子どもや母親は自分達の地域で守る」との考え方を基本に、今後も進めて参ります。
(山口信雄)

志翔会だより ■ 発行責任者：七海喜久雄 ■ 編集委員：佐藤 徹哉 大木 進 山口 信雄 佐藤 栄作 森合 秀行（編集責任者）

<http://www.shishoukai.jp/> 市政に関するお問い合わせ・ご意見は 郡山市朝日 1-23-7 志翔会 ☎ 924-2502 へ